

素表 何枚 同

此代價同

小以 何枚

此代價同

幾

野表 何枚 後季預リニ越シ分

甲號表 何枚

丙乙號表 何枚

素表 何枚

右ハ死亡届表明治何年前後半年分計算ノ上拂下ケ代

三

千葉縣

價書面ノ通及上請候也

第何大區醫務取締

明治 年 月 日 氏 名 印

縣 令 宛

乙第貳百貳拾五號

區長

學區取締

戶長

本年二月縣廳乙第拾五號ヲ以テ相違候更正千葉  
師範學校長心得條款中上款第五項ヲ下款第三項  
ノ次ニ改移候條此段相違候事

明治十年七月十四日 千葉縣令柴原 和

千葉縣

學區取締

公立小學教員

千葉師範改正初學地理書ナルモノハ該校ニ於テ  
學校編輯改正セシニ非ス依テ右改正初學地理書ハ公立小  
學教科ニ用ユヘカラス候且千葉師範學校在遠藤  
省吾編輯博物問答モ同様公立小學教科書ニハ無  
之候條此段爲心得相違候事

明治十年七月十八日 千葉縣令柴原 和

千葉縣

乙卯紙百貳拾七號

醫務取締

醫術營業ノ者ヨリ課出スルトヨロノ衛生費ノ儀  
 自今廢業<sup>死亡</sup>又ハ他府縣へ移轉ノ者トモ届書縣  
 廳へ到達十五日前後ヲ區別シ十五日前廢業<sup>死亡</sup>  
 他府縣へ移轉ノモノハ其月分半額ヲ收入シ十六  
 日後同斷ノ者ハ同全額ヲ收入スヘク且今後新ニ  
 開業ノ者モ免狀付與十五日前ニ在レハ其月分全  
 額ヲ收入シ同十六日後ニ在レハ同半額ヲ收入致  
 シ候條各醫術營業ノ者へ可相達候此致相達候事

千葉縣

明治十年七月十八日 千葉縣令柴原 和

三十三

衛生

三十三  
上如

乙第百貳拾八號

區長  
區務取締  
戸長

本年縣廳乙第百貳拾四號及乙第百四拾三號乙  
第百八拾三號ヲ以從前賣藥鑑札所持ノ者心得方  
並該營業出願手續諸書式難形等追々相違候處今  
般其筋ヨリ違ノ次第モ有之候ニ付左ノ通改正追  
加候條此段相違候事

明治十年七月廿一日 千葉縣令柴原 和

千葉縣

第四項改正

一明治八年七月以降本年一月規則發行前ノ鑑札所  
持ノ者本年六月迄ニ廢業届出候分ハ特別ノ證  
ヲ以本年ニ限り前半期ノ税金ハ免除スヘシ

第二項ノ次ニ追加

一營業鑑札請賣鑑札ハ所持人ノ居家ニ限り營業ノ  
權アルモノニ付別戸支店等ニ於テハ別ニ其居住  
人ニ於テ鑑札ヲ所持スルニ非サレハ營業スルヲ  
得ヘカラス

乙第百貳拾九號

區長  
戶長

來明治十一年佛國巴里府ニ於テ萬國大博覽會開  
設ニ付御國於テモ俄國請求ニ應セラレ出品諸規  
則等本年內務省甲第十四號ヲ以布達相成候通ニ  
有之然ル處猶其筋ヨリ違之次第モ有之各工商中  
未タ博覽會概益之趣意ヲ了解セス或ハ篤志ニシ  
テ資本ニ乏敷者モ可有之ニ付右等之者勸奨之爲  
當御時節柄ヲモ不致爲厭新製ノ良品或ハ輸出ニ

適應スル物品ノ見本類ニ限リ其出品ノ資本不足  
ノ者ハハ物品原價相當之金額ヲ同省ヨリ貸與可  
相成答ニ付前條之御趣意ニ適當スル願意ノ者ハ  
本月三十一日迄ノ内ニ無相違本縣第二課へ申出  
候様至急可相違候猶詳細之儀ハ同課ニ於テ可展  
指示候且又右出願之者無之候ハ、其旨ヲモ同日  
迄ニ可申出候此段相違候事

但內國勸業博覽會へ自費出品之内ニテ披撰レ  
佛國博覽會へ出品セント欲スル者ハハ其品柄  
ニ密原價貸與可相成儀モ可有之ニ付右之分ハ

本文同様出願候テモ不苦候事

明治十年七月廿三日 千葉縣令 茨原 和

乙第貳百三拾號

區長  
戶長

士族隱居家督相續ノ義是迄辭令書ヲ以テ相違來  
リ候處自今諱テ本人共願書ニ聞届候旨可及指令  
候條得其意隱居家督相續等願書ハ正副或通宛差  
出候様區内士族ニ可相違候此段相違候事

但本年<sup>三</sup>縣廳乙第百拾壹號達ニ揭ケタレ士族  
隱居家督相續願ノ一項ハ删除候事

千葉縣

明治十年七月廿四日 千葉縣令柴原 和



古須原百三拾壹號

區長  
戶長

陸軍恩給令其筋ヨリ被相違候ニ付為心得此段相  
違候事

但恩給願書式其他ノ儀ハ各大區出此所區第拾  
區ハ大區扱所ニ備置候條同所ニ於テ承知可致  
事

十一年二月百七十号以迄迄

明治十年七月廿六日 千葉縣令柴原 和

千葉縣

陸軍恩給令

總則

第一條 陸軍恩給ハ軍人奉任中諸種ノ功勞ニ依テ  
獲ル者ニシテ其種類ヲ別ツテ左ノ如シ

第一 恩給 服役停年ト傷病疾病トニ由ル者ナ  
リ

其給額ハ服役ノ長短傷病疾病ノ輕重其軍人ノ  
官階並ニ在職中ノ停年ニ從テ各差等アリ

第二 寡婦扶助料 其給額又其夫ノ官階ト死没  
ノ緣故トニ由テ差アリ

第三 孤兒扶助料 其給額上ニ同シテ差アリ

千 葉 縣

第四 罷役後恩給 上長官士官准士官並ニ會計  
軍醫馬醫軍樂各部右同等ノ輩服役十五年以上  
ノ者ニ給スル所ニシテ其給額服役停年ノ長短  
ニ準ス

以上四種ノ恩給並ニ扶助料ハ大藏省ヨリ別途  
ニ支給スル者ナリ

第五 罷役俸 上長官士官准士官並ニ會計軍醫  
馬醫軍樂各部右同等ノ輩服役十一年ヨリ十五  
年未滿ニテ罷役ニ入ル者ニ給スル所ナリ

第六 罷役恤金 恩典トシテ壹號休暇ヲ賜ヒ歸

郷セシメタル下士兵卒並ニ同等ノ輩ニ給スル所ナリ

以上二種ノ給料ハ陸軍ノ各年定額表ニ載セテ陸軍省ヨリ支給スル所ニシテ罷役俸並ニ罷役恤金令アリ後ニ附ス

第二條 恩給寡婦扶助料罷役後恩給ノ三種ハ其本人ニ生涯之ヲ給スヘレ  
孤兒扶助料ハ其孤兒母女共ニ二十歳ニ至レハ之ヲ止ム  
罷役俸ハ其上長官士官准士官並ニ會計軍醫馬醫

軍樂各部右同等ノ輩服役停年ノ半期ニ准シテハハ  
服役停年十二年トスハ其年間之ヲ給シ罷役恤金  
ハ二ヶ年ヲ以テ限リトス然レモ之ヲ更新スルコトヲ得ヘシ

第三條 凡ソ此各種ノ支給料ハ當該人名存生ノ中  
ハ之ヲ支給シテ停止スルコトナシ但シ公債隊内  
借財並ニ身代限ニ處セラル、時モ其引ク所給額  
五分ノ一ニ過ルヲ得ス

第四條 凡ソ陸軍恩給ヲ受ルノ權ハ次ノ事故アレ  
ハ之ヲ止メ或ハ其時間之ヲ停ム

第一 破廉耻甚ノ者或ハ笞刑或ハ懲役實決以上ノ處斷ヲ受ル時

第二 事故アリ日本人タルノ分限ヲ失フ者

第三 政府ノ許可ナクシテ帝國外へ出ル者

恩給  
第五條 恩給停年ニ基ツク者ハ最下限ヨリ最上限マテノ差等アリ最上限ニ越ルコトハ此後第十一條第一節及ヒ第七十八條ニ掲示スル者ニ係ルノ外絶テ有ルコトナレ

第六條 最下限ヲ受ルノ權ハ上長官士官准士官並ニ會計軍醫馬醫軍樂各部右同等ノ軍服役實期ニ

四

千葉縣

十五年ニ滿ル者之ヲ獲ヘシ又上長官士官准士官並ニ會計軍醫馬醫軍樂各部右同等ノ軍服役實期二十年ニ滿ルノ後一時ノ疾病ニ由リ三年以上非職タリシ者查問會議ニ因テ再ヒ現役ニ候ス可ラサル者ニリト處決スル時ハ其官階ニ準スル最下限ノ恩給ヲ受ルノ權利ヲ有ス但シ從軍年ヲ算入スルノ恩典ナシ

下士兵卒服役實期十五年ニ滿ル者ハ最下限ノ恩給ヲ受ルノ權利ヲ有ス

第七條 恩給ノ最上限ハ服役四十五年ニ滿ルノ上

長官士官准士官並ニ會計軍醫馬醫軍樂各部右同等ノ輩三十五年ニ滿ルノ下士兵卒並ニ同等ノ輩之ヲ受ルノ權利ヲ有ス

此故ニ上長官士官准士官並ニ會計軍醫馬醫軍樂各部右同等ノ輩ハ滿二十五年以上下士兵卒並ニ同等ノ輩ハ滿十五年以上毎年最下限ヨリ最上限ニ至ル差二十分一ノ比例ヲ以テ其受ル所ノ給額ヲ増加ス但シ此年數ニ從軍年ヲ算入スルハ後ノ第四十二條ニ揭示スルカ如シ

第八條 戰地若クハ公務中偶然ノ事故ニ由テ重傷

五 千葉縣

ヲ受ケ不治ニ至ル者ハ恩給ヲ受ルノ權利ヲ有セシム

重病ノ人陸軍服役ノ疲勞危難ヨリシテ發シ不治ナリト認メラルハ者亦同シク此權利ヲ有セシム

第九條 其傷病或ハ盲目トナリ或ハ切斷ニ由リ又ハ其傷病ニ由リテ全ク一肢以上ノ用ヲ失フ者ニハ直ニ恩給ヲ受クルノ權ヲ有セシム然レモ其傷病疾病右ノ重症ニ比シテ一層輕キ者ハ次ノ事情アルニ至ラサレハ之ヲ有セシムルコトナシ

第一 上長官士官准士官並ニ會計軍醫馬醫軍樂

各部右同等ノ輩ハ其傷病ニ因テ現役ニ遣ヘサル者年ヲ經ルト雖モ竟ニ後役スヘキ目途ナキ時

第二 下士兵卒並ニ同等ノ輩ハ其傷病ニ因テ服役スヘカラスシテ糊口ヲナスコト能ハサル時

第十條 上條ノ道理ニ基ツキ凡テ服役ノ事ニ關カ  
ラサル疵傷其他體質薄弱若クハ老衰若クハ世上  
一般ノ疾病ニ罹ル者ハ此限ニアラス

第十一條 恩給ヲ給スルノ本則ハ其由ヲ以テ此ニ  
至ラシムルノ原因ノ輕重ニ準シテ差等アルコト

次ノ如シ

第一 其兩眼ヲ盲シテ不治ニ至ルト前ニ切斷ニ  
由テ二肢ヲ亡スト此ニツキ罹ル軍人ハ何ノ官  
階ヲ論セス停年恩給ノ最上限ノ上ニ上長官士  
官准士官並ニ會計軍醫馬醫軍樂各部右同等ノ  
輩ハ其給額百分ノ二十下士兵卒並ニ同等ノ輩  
ハ百分ノ三十ノ増額ヲ受ク但シ其服役ノ長短  
ヲ論スルコトナシ

第二 一肢ヲ切斷シ若クハ全ク二肢ノ用ヲ失フ  
ニ至ル軍人ハ何ノ官階ヲ論セス唯最上限ノ額

ヲ受ク但シ其服役ノ長短ヲ論スルコトナシ  
第三 其傷痍疾病全ク一肢ノ用ヲ失フニ至リ若  
クハ之ヲ失フコトナキモ之ヲ失フニ等シト認  
ムル所ノ軍人ハ何ノ官階ヲ論セス又其服役ノ  
長短ヲ問ハス先ツ停年恩給ノ最下限ヲ以テ之  
ニ當テ而シテ後ニ服役ノ年度ニ照シ恩給最下  
限ヨリ最上限ニ至ル差ノ二十分一ヲ加ヘタル  
給額ヲ受ルノ權アリトス然レモ其給額最上限  
ノ高ニ至レハ其上増加スルコトナシ但シ此服  
役年數ニ從軍年ヲ算入ス

第四 其傷痍疾病前項ニ比スレハ一層輕キモノ  
ニシテ自己ノ用辨ニ差支ナキモノハ最下限ノ  
額ヲ一時限リ給ス但シ服役停年從軍年ヲニ由  
リ最下限ノ恩給ヲ受クルモノハ此一時限リハ  
給セスト雖モ其罷役後恩給或ハ罷役俸並ニ恤  
金ヲ受ルニ止マルモノハ別ニ此一時限リヲモ  
給スヘシ

第十二條 其他後ノ第七十九條ニ揭示スル所ニ係  
ル者ハ給額ノ差數五分ノ一ヲ以テ之ニ増加スル  
コトヲ得ヘシ

第十三條

恩給ヲ受クヘキ夫ノ死後ニ於テ其夫ノ官階ニ屬セル停年恩給ノ最上限ノ半數ト定メ生涯之ヲ受ルノ權ヲ有スル寡婦ハ次ノ如シ

第一 戰地若クハ公務ニ於テ殺害ヲ受ケタル軍人ノ寡婦

第二 内地若クハ日本外ノ軍中ニ於テ或ハ戰爭ノ事故ニ由リ或ハ傳染疫癘ニ罹リ其他服役ノ義務ヲ奉スル爲ニ死没シタル軍人ノ寡婦

第三 戰地ニ於テスルト公務ニ於テスルトヲ論セズ其傷痍ニ源因シテ終ニ死ニ至ル軍人ノ寡婦

八 千葉縣

婦

第十四條

恩給ヲ受クヘキ夫ノ死後ニ於テ其夫ノ官階ニ屬セル停年恩給最上限ノ四分一ニ均シキ給額ヲ生涯受ルノ權ヲ有スル寡婦ハ次ノ如シ

第一 其夫既ニ恩給ヲ受テ死シ後ニ遺レル寡婦

第二 其夫未タ之ヲ受ケスト雖モ受クヘキ權ヲ有シテ死シ後ニ遺レル寡婦

總テ寡婦ハ陸軍卿ノ許可ヲ受ケ合式ノ婚配ヲ行ヒ其夫ノ現役ヲ去ルノ前即チ陸軍俸給ヲ離ルル時ヨリ一ケ年以前ニ嫁シタル者タルヘシ然レモ



其夫致仕ノ以前ニ前時ノ配偶若クハ此配偶ヨリ  
生レタル兒子アレハ嫁時ノ年月ヲ查確スルニ及  
ハス

第十五條 寡婦其家ヲ去リ若クハ再婚スルハ扶  
助料ヲ望ムノ權ナレ此場合ニ於テハ兒子本腹分  
タス其戸籍ニアル者ハ之ヲ孤兒ト見做スヘシ  
登記セルモノ

第十六條 其寡婦死去シ或ハ再婚等ノ事故アリテ  
其扶助料ヲ受ルノ權消絶スルハ其權其軍人ノ  
一子若クハ數子ノ幼年ナル者アレハ其數ニ拘ラ  
ス是ニ轉移シ寡婦ノ受クヘキ扶助金ト均シク年

九 千葉縣

々其扶助料ヲ受クルコトヲ得ヘシ

第十七條 此道理ニ基ツキ其軍人ノ死スル前ニ母  
ノ死シタル孤兒ハ其母ノ受クヘキ扶助料ヲ直ニ  
受クヘシ

第十八條 凡ソ養子ハ唯嗣子タル者ニ限り二十歳  
未滿ナレハ之ヲ受クルノ權利ヲ有ス若シ其軍人  
生前ニ其女子ヘ養子ヲナスト雖モ未婚中ナレ  
ハ第十六條ノ例ニ準スヘシ但シ其養子ト婚配ス  
レハ男女トモ其權消絶ス

第十九條 此扶助料ハ孤兒幼年ノ間ニ限ル者ニシ

テ男女共ニ二十歳ニ至ルハテヲ期トシ其期ニ違  
スレハ其權轉レテ次子ニ移ル者トス

第二十條 服役停年ニ付テ退職ノ恩給ヲ願フハ服  
役定期全ク滿ツルノ前ニ非レハ之ヲ願フコトヲ  
得ス

第二十一條 此故ニ各軍隊ニ於テハ毎年一次ノ外  
ハ退職恩給願ヲ軍人ニ許可セサルヲ以テ常則ト  
ス

其願書ハ總テ各年檢閱使定期檢閱ノ前一箇月ニ  
於テ証據ニ供スヘキ書類ヲ副ヘ之ヲ本隊ノ會計

十 千葉縣

會議ニ移呈スヘシ

此會議ニテ願人ノ申告シタル事實ヲ查照シ其服  
役ノ明細書並ニ願意ノ証據ニ供スヘキ書類ニ調  
印シ其是非ヲ當人ニ説諭シ而シテ後ニ總テ此書  
類ヲ檢閱使ニ呈スヘシ

此例ニ外ナル者左ノ如シ

第一 其下士以下隊内ニ在ル者定期十五年ニ滿  
ルノ時ニ入隊ノ約期ニ盡ル者ニ就テハ此期限  
前ニ合式ノ願書ト証據ニ供スヘキ書類トヲ併  
セテ入隊約期滿限ニ至ル日ニ之ヲ領臺ノ司令

將官ニ呈スヘシ此場合ニ於テハ該官ハ檢閱使ノ任ヲ行フヘシ

第二 戦地ニ於ケル重傷重病ノ事故ニ基ツキタル恩給ハ總テ之ヲ急速ニ取扱フヘシ故ニ此場合ニ於テハ一團隊ノ首帥檢閱使ノ任ヲ行フヘシ

第三 其他急速ヲ要スル場合ニ於テハ四季ノ間兵ノ時ニ鎮臺ノ司令將官自ラ檢閱使ノ任ヲ行ヒ或ハ部下ノ司令官ヲシテ之ヲ代理セシムルコトアルヘシ

第二十二條 凡テ恩給ノ進達文ハ其縁故ヲ開列シ服役並ニ從軍ノ事實ヲ表章シテ願人ヲシテ恩給ヲ受領スルニ適當ナラシムルヲ以テ主トスヘシ

第二十三條 其軍人軍隊中ニ編制セラレタルカハ其軍隊ノ會計會議ノ注意ヲ以テ其願書ヲ呈セシムヘシ

第二十四條 其進達文ノ外ニ次ノ書類ヲ悉ク取揃ヘ一纏メトナシテ之ヲ呈スヘシ

第一 願人ノ縁故ヲ開列シタル願書 是ハ會計會議又ハ之ヲ所轄スル官廳等ノ長官ニテ署名

調印ス

第二 身元履歷書 是ハ郷貫職業移任年月等ヲ詳カニシ且生年ヨリ陸軍出身マテノ履歷ヲ表シ兼テ父母妻子等ノ姓名ヲ載セタル者

第三 服役並ニ從軍ノ明細書 是ハ隊中ノ帳簿ヨリ凡テ該名ニ關係スル條款ヲ抄出シタル者但シ此書ニハ本人調印スヘシ

第四 上包 是ハ會議又ハ此願書ヲ移轉スル官人ニテ作ル所ニシテ番號並ニ包中書類ノ番號ヲ表記シ願書並ニ附屬ノ諸書類ヲ之ニ包收シ

仍ホ其遺脱ヲ防ク爲ニ絲帶ヲ施スヘシ

第二十五條 此書類ハ檢閱使若クハ四季ノ閱兵ヲナス將官ノ閱兵期日一箇月前ニ其管ノ司契ニ送付シ司契之ヲ合格ナリト認ムルキハ檢印署名シ該臺ノ司令將官ニ呈シ將官一覽ノ上異議ナキニ於テハ直ニ會議ニ返送シテ其檢閱ヲナス將官ニ呈セシムヘシ

將官其人名ヲ檢査スルノ後會議ヲシテ恩給許可ヲ請フノ進達帖ヲ作ラシメ而シテ監督査照ヲ送テ將官之ヲ可トスルノ後其帖ト諸書類並ニ其願